

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 566

事務事業名	下水道広報公聴業務
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	業務課		
課長名	坂上 正信	内線	53-1116
担当者名	岩松 菜月	内線	53-1116

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050304	快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計	下水道事業		
款	2	下水道事業費用	
項	1	営業費用	
目	5	業務費・総係費	
事業コード			

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 下水道利用者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 下水道事業の運営等に関する情報をホームページ等様々な媒体を利用し、積極的に情報発信を行うことで、利用者の理解と協力を得られるようにする。 また、同様に利用者の意見を聴き、利用者の立場にたった事業運営をめざす。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 「広報おおむら」への掲載。 「下水道の日」等に併せたパネル写真展等PRイベントの開催。 上下水道事業パンフレット(「水はみんなの宝物」)の作成・配布。 上下水道局公式ホームページの更新・運営。		
事業期間	平成	年度 ~ 平成	年度
実施方法	直営		
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 広報誌掲載頁数	計画値	12	12	12	12	広報が必要な事柄は、上下水道局のホームページを利用
		実績値	0	2	5		
		達成度	%	0.0%	16.7%	41.7%	
成果指標	① 浄水管理センター見学者数(小学校の授業分は除く)	計画値	50	50	50	50	
		実績値	27	175	59		
		達成度	%	54.0%	350.0%	118.0%	
成果指標	② ホームページのユニークユーザー数	計画値	16,000	16,000	16,000	16,000	計画値(年間)の設定は、H21~H22実績値の平均値とした
		実績値	18,809	14,776	14,475		
		達成度	%	117.6%	92.4%	90.5%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	235	396	225	556	998	998	998	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	235	396	225	556	998	998	998	
② 人件費(千円)	795	756	1,411	3,636	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.10	0.20	0.50	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	広報誌の発行、ホームページを利用したアンケート調査	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	1,030	1,152	1,636	4,192				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	上下水道事業のパンフレット(水はみんなの宝物)について、27年度から改訂作業を進め、平成16年以 来の改訂を実施した。約6,000部を作成し、市内小学校の4年生に配布した。 広報紙掲載を3回(12月、1月、8月は特集の折込チラシ)、ホームページ更新を2回(4月、7月)行った。 9月10日の「下水道の日」に併せ、市内の小中学校にのぼり等を設置するPR活動を実施した。 11月中旬に、市の他イベントに併せて、パネル写真展やグッズの配布等、下水道事業のPRイベントを行 う予定。
事業が抱える問題・課題等	ホームページ更新時期、更新回数の見直しについては、業者委託のため、経費が必要となる。

妥 当 性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	下水道の整備・維持管理の必要性、事業内容や経営状況などを公表し下水道事業に対する市民の理解を得る必要がある。 下水道の利用申込みや中止、下水道料金の問い合わせなどにホームページの活用は不可欠である。						
有 効 性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	下水道事業は、大村市上下水道局で実施しているので市の関与は妥当である。						
効 率 性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	下水道利用の開始・中止の申込みなどサービス面の向上や事業計画、経営状況などの情報提供に関してホームページを利用 している。						
効 率 性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ホームページを活用した水道利用の開始・中止申込みや閲覧者も増加傾向にあり、今後さらなるホームページの利用が見込ま れる。						
効 率 性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	下水道利用者や下水道事業関連事業者に対し、必要最小限の更新回数(年2回)で実施しており、年4回の更新を検討してい るため、経費の削減は見込めないが、利用者向けの有料広告を掲載するなど広告料収入が期待できる。						
効 率 性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等) に対する取組など)	「広報おおむら」に下水道事業をPRする内容について掲載する。 上下水道局公式ホームページの掲載内容、更新の見直し、「下水道の日」に併せたイベント等を引き続 き行い、下水道事業をPRしていく。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	生活排水や雨水排水の対策がどのように行われているかなどを十分に説明することで、下水道事業や 下水道料金に対する利用者の理解を深めることができる。

1 次 評 価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2 次 評 価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。